

熊本矯正歯科研究会

NEWS LETTER

令和 8 年度（秋季）

事務局：熊本駅前矯正歯科クリニック 上村 裕希
〒860-0047 熊本県熊本市西区春日 5-2-1
TEL 096-342-4148 FAX 096-342-5095
Email: kumamoto-ekimae-kc@cure.ocn.ne.jp



令和 8 年度前期 熊本矯正歯科研究会 総会・会員発表・特別講演会（令和 8 年 5 月 30 日）熊本県歯科医師会館にて

会長挨拶

熊本矯正歯科研究会会長

きょうごく矯正歯科・小児歯科クリニック 京極和彦



会員の皆様におかれましては、平素より熊本矯正歯科研究会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、深く御礼申し上げます。

まず、このたびの熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。突然の大きな揺れに不安な時間を過ごされた方も多くいらっしゃるかと思います。一日も早く平穏な日常が戻りますことをお祈り申し上げます。

さて、私達が日々の診療に向き合う中で、治療に悩んだり新しい技術への対応に戸惑ったりする事は誰にでもある事と思います。そんな時に気軽に相談し、経験や知識を分かち合える仲間がいることは大きな支えです。

本研究会が会員の皆様にとって学びの場であると同時に互いに顔を合わせ、率直に語り合い、支え合える場であり続ける事が一番大事だという事を、大きな災害を再び経験し思い知らされました。今後も学術活動はもちろん、会員相互の交流を大切に、熊本の矯正歯科医療の更なる発展に貢献できる研究会を皆様とともに作って参りたいと思います。引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年度 執行部

会長：京極和彦

副会長：久永豊 山本資晴

事務局：上村裕希

会計：竹口敦士

学術：青木潤也 太田文隆

ホームページ：近藤俊輔

広報：鬼塚研志

以上、理事

監事：犬童寛治 山部耕一郎

令和8年度前期の主な活動報告

理事会

令和8年5月15日に第一回理事会を開催いたしました。

令和8年9月1日に第二回理事会を開催いたしました。

令和8年度前期熊本矯正歯科研究会 総会

令和8年5月30日（土）に「熊本県歯科医師会館」にて令和8年度熊本矯正歯科研究会総会が行われました。議長には 赤尾浩彦先生、議事録署名人に太田文隆先生が選出されました。

【会務報告】

会員現況 現在 56 名

前年度の活動報告

熊矯 70 周年記念祝賀会等

【審議事項】

第一号議案 令和7年度歳入歳出決算の承認を求める件→賛成多数により承認されました。

第二号議案 令和8年度予算案の承認を求める件→賛成多数により承認されました。

第三号議案 名誉会員への推薦について承認を求める件→賛成多数により分山英治先生の名誉会員就任が承認されました。

第四号議案 弔慰規定を追加する会則変更について承認を求める件
→賛成多数により会則第8条に「会員本人が逝去した場合、次の対応を行う。弔電、供花等を会長判断により必要に応じて行う。」が追記されることが承認されました。



令和8年度前期熊本矯正歯科研究会 会員発表

令和8年5月30日（土）に「熊本県歯科医師会館」にて総会後に会員発表が行われました。

医療法人伊東会伊東歯科口腔病院ご在籍の吉武義泰先生に「矯正歯科医とともに歩み発展してきた伊東歯科口腔病院の歯科医療」という演題で会員発表をしていただきました。

伊東歯科口腔病院で実際に行われている外科的矯正治療について、さまざまな術式を一つひとつ丁寧にご解説いただきました。

長年にわたり矯正歯科医と連携し、熊本県の外科的矯正治療を支えてこられた伊東歯科口腔病院が果たしている役割の大きさを、改めて実感する機会となりました。吉武先生、この度は大変貴重なご発表をありがとうございました。



令和8年度前期熊本矯正歯科研究会 特別講演会

令和8年5月30日（土）に「熊本県歯科医師会館」にて会員発表後に特別講演が行われました。
医療法人共愛会共愛歯科医院の三村彰吾先生をお招きし、「私が考える包括的歯科診療」という演題でご講演いただきました。

目の前の症状だけでなく、患者さんの生活背景や将来まで見据える包括的歯科診療の大切さを、改めて学ぶ講演でした。約25年にわたる豊富な臨床経験に基づく全顎的治療の症例は圧巻で、診査・診断の重要性を実感しました。今回の学びを日々の診療に生かし、長期的な視点で質の高い医療を提供していきたいと感じました。三村先生、この度は大変貴重なご講演をありがとうございました。



令和8年度前期熊本矯正歯科研究会 懇親会

令和8年5月30日（土）に「グリルドゥギャン」にて特別講演後に懇親会が行われました。
懇親会では池上富雄先生と伊東隆三先生に名誉会員の推裁状が謹呈されました。懇親会の様子です。



熊本市歯科医師会主催 歯の祭典

令和8年6月7日（日）に「サンロード新市街」にて熊本市歯科医師会主催の歯の祭典が行われました。
本年も当会は協力団体として理事の先生を中心に矯正相談を行いました。今回の相談件数は36件でした。
ご参加された先生方、お疲れ様でした。



今後の主な活動予定

令和8年度後期熊本矯正歯科研究会 特別講演会・懇親会

令和8年11月7日（土）場所「熊本県歯科医師会館」にて、特別講演会 18:00～、懇親会 20:00～（場所：グリルドゥギャン）を予定しております

【特別講演会】

演者 崎原 盛貴先生（沖縄県中頭郡北谷町 医療法人ユニバーサル矯正歯科クリニック）

演題 「デジタルを活用した矯正歯科治療の実践 — 技術革新と臨床家の責任 —」



1998年 3月 朝日大学歯学部卒業

1999年 4月 朝日大学大学院歯学研究科入学（歯科矯正学専攻）

2003年 3月 朝日大学大学院歯学研究科修了（歯学博士）

2003年 4月 さきはら歯科医院勤務（大阪市）

2003年12月 日本矯正歯科学会認定医（認定医登録）

2007年 1月 ユニバーサル矯正歯科クリニック開業（沖縄県北谷町）

2023年11月 医療法人ユニバーサル矯正歯科クリニック設立

所属学会等

日本矯正歯科学会 日本顎変形症学会 日本口蓋裂学会九州矯正歯科学会

日本3Dプリンティング矯正歯科学会日本デジタル歯科学会沖縄矯正歯科医会

抄録

近年の口腔内スキャナー（IOS）、CT（DICOM）、顔貌 3D スキャン、CAD、3D プリンター、アライナー、AI などの急速な発展により、矯正歯科治療を取り巻く環境は大きく変化している。診断資料のデジタル化にとどまらず、治療シミュレーション、装置設計・製作、患者説明、顎変形症治療における情報共有など、デジタル技術は日常臨床のさまざまな場面に入り込んでいる。私自身もこれらの技術を積極的に導入し、診断から治療、装置製作までを院内で連携させる試みを続けてきた。その過程で実感したのは、デジタル化によって可能となったことが増える一方、必ずしも臨床が単純化するわけではないということである。装置やソフトウェアごとに分断された患者情報、データ変換、機器の管理や保守、製作工程の増加など、従来にはなかった新たな負担も生じている。また、画面上に提示される治療シミュレーションや AI による解析結果は、あくまで判断を支援する情報であり、実際の歯の移動や生体反応、咬合、歯周組織、患者の協力度までを保証するものではない。

本講演では、IOS、DICOM、3D プリンター、デジタルセットアップ、インダイレクトボンディング、アライナー、顎変形症治療など、当院で実践してきたデジタルワークフローを、成功例だけでなく期待通りに進まなかった経験も含めて紹介する。技術革新が進むほど、臨床家には情報を統合し、適応を見極め、結果を評価し、必要に応じて治療方針を修正する力が求められる。デジタルに治療を委ねるのではなく、患者利益のために何を使い、何を使わないかを判断すること。それこそが、これからのデジタル時代における臨床家の責任ではないだろうか。

本講演が、デジタル技術と矯正歯科臨床のこれからを皆様とともに考える機会となり、熊本矯正歯科研究会からも忌憚のないご意見、ご指導を賜ることができれば幸いである。

（編集：広報担当理事 鬼塚研志）

熊矯ホームページは、 <http://kumakyouseiken.com/> 会則閲覧パスワード：kos2026

熊本矯正歯科研究会のニューズレターはホームページからもご覧できます。是非ご覧くださいませ。